

第5学年 国語科学習指導案

平成24年11月3日(土) 5校時

5年1組 39名 授業者 照屋麻紀

5年3組 39名 授業者 比嘉秀一郎

1 単元名 季節の言葉 秋の空

2 単元目標

親しみやすい古文について内容の大体を知り、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。

3 単元について

(1) 教材観

本教材は、「鰯雲」に材を取り、その美しさと季節感を表した俳句、秋の気象の特徴を表した言葉を中心に構成されている。情景を思い浮かべながら新たな言葉に出会う、俳句を読み味わう、ここで耕した季節感を手がかりに秋らしい言葉を探すといった、五感に触れる学習ができる。加えて、声に出して読むことで、言葉の響きの美しさ、昔の人たちのものの見方・感じ方に触れさせたい。

(2) 児童観

本学級の児童はこれまでに、新聞の仕組みについて理解したり、新聞記事や写真にタイトルをつけたり、新聞スクラップをしたりと、主に総合的な学習において、新聞に触れてきた。また国語科においては、「春」「夏」の俳句に触れ、俳句をつくってきた。どの子も「季語」を取り入れながら意欲的に取り組んでいた。しかし、季節を表す言葉を探すことにまだ慣れておらず、作品に広がりが見られなかった。そこで、1学期より学習に取り入れてきた新聞記事を活用し、より多くの「季語」を見つけさせ、言葉への関心を高めながら、さらに俳句に親しませたい。

(3) 指導観

教材の「鰯雲」という言葉を用いた三つの俳句を読み味わう際には、作者がいつ、どこにいて、どんな情景に心を打たれたものなのかを考えさせ、三つの句の共通点・類似点・相違点に気付かせたい。また、写真や秋の気象や特徴を表す言葉については、どのような情景でどのような感覚なのかをできるだけイメージさせるようにしたい。さらに、総合的な学習の時間において、新聞記事から秋に関する単語を集め、自分なりの季語を発見する活動を行い、それをもとに「秋の俳句」を作ることで、新聞記事から作品を作る活動につなげていきたい。

「うるま市実践9項目」との関わりでは、言語環境の整備と言語活動の充実に重点を置いて指導する。俳句をつくる際に、ペア学習を取り入れたたり、作品を紹介し合う際には、グループ学習を取り入れたりするなど、学習形態を変化させていく。

4 本時の学習 (2/2時間)

(1) ねらい

俳句の約束を意識し、普段の生活で感じていることや新聞記事を活用して自分なりの俳句を作ることができる。

(2) 授業仮説

・俳句をつくる場面において、秋らしさを感じるものを思い起こしたり、新聞記事を活用したりすることにより、心情や情景が思い浮かぶ作品ができるであろう。

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点（実践9項目）	評価
導入 10分	<p>1 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>秋の俳句をつくらう！</p> </div> <p>2 俳句づくりの約束を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>五・七・五 季語を入れる 字余り・字足らずOK！</p> </div>	<p>ねらいの明示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春 夏の俳句作りを思い出させる。 <p>形成的評価（理解確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した「秋の空」を想起させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを理解し、学習に意欲を持っている。
展開 30分	<p>3 秋の季語を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季語を出し合う。 <p>4 俳句をつくる。</p> <p>一番、秋を感じた記事や季語をもとに俳句をつくる。</p> <p>できた俳句を、ペア同士紹介し合う。</p> <p>短冊に俳句を清書する。</p> <p>5 俳句をグループで発表し合う。</p>	<p>言語活動の充実</p> <p>教材・教具の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活から感じる季語や事前に新聞記事から集めておいた季語を紹介しながら進める。 習得したことを活用する場 ・小学生が作った俳句を紹介し、俳句作りへの意欲を高める。 ・話し合いながら、工夫できるところは修正してもよいとする。 ・短冊を配布する。 ・どんな気持ちで俳句を作ったのかを考えながら聞かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季語に興味を持とうとしている。（発表） ・秋の俳句を作ることができている。（ノート）
まとめ 5分	<p>6 自己評価をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>俳句日記</p> </div> <p>を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかったこと、気づいたこと、難しかったことなどをノートに書く。 	<p>自己評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品のよかったところ等も書くよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価ができてきている。

(4) 評価

- ・普段の生活での感性や新聞記事を活用し、秋の心情や情景が思い浮かぶ俳句をつくることができたか。（短冊）

(5)板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">教材文と写真</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ もみじ ・ さんま ・ かき ・ くり ・ いねかり 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">季節の言葉</p> <p style="text-align: center;">秋の空</p> <p style="text-align: center;">秋の俳句をつくらう。</p> <p style="text-align: center;">俳句のきまり</p> <p style="text-align: center;">五・七・五</p> <p style="text-align: center;">季語を入れる</p> <p style="text-align: center;">字余り・字足らずOK!</p> </div>
---	--	--